

市議会 花よ#1

12月定例会

題字：関 幹奈さん(和田区)



坂の上小学校3年1組&2組の皆さん
社会科見学で市議会議場を見学しました



【主な内容】

- ・議会と語る会
- ・200号題字選考結果
- ・12月定例会の概要
- ・一般質問
- ・ぼいす・傍聴席・編集後記

編集／議会広報委員会
発行／小諸市議会
責任者／議長 丸山正昭



Youtube配信



小諸市議会HP

を対面式で再開しました！

対する提言、意見等をお聞きし、小諸市の発展に活かすため議会と語る会を開催しています。部の2回開催しました。ヨップを行いました。

〈学校再編について〉の主な意見

今までの進め方

- ・小中一貫教育のシステムやメリットがわからない
- ・今までの議論の広報を少子化なのでやむを得ない
- ・学校再編の意見を聞かれる機会がなかった
- ・教育内容の検討結果をオープンに

廃校の利用方法

- ・道の駅・地場産品の加工場・地域の避難所・宿泊できる場所などに
- ・体育館は体育館のまま
- ・部屋ごとの分割利用ができれば
- ・地域コミュニティセンターとして
- ・学校法人・NPO法人などで活用
- ・集団生活になじめない子どもたちが通う場に
- ・博物館に
- ・「廃校利用を考える会」発足
- ・地元優先に

- ・グラウンドは今まで通りに使いたい
- ・映画撮影の場所
- ・まず見学会を
- ・必要のない公共施設は将来負の遺産になる
- ・野菜づくりの施設活用

新小学校に望む（施設）

- ・民間プールの活用
- ・プールは授業日数が少ない
- ・送迎車の渋滞対策
- ・地域の交流ができる場所に
- ・スクールバスの導入
- ・校庭は芝生に
- ・成長期の徒歩通学は必要
- ・地域の声を聞く組織作り
- ・新しい施設はよく考えて
- ・児童館は学校の近くに

新小学校に望む（教育）

- ・フリースクールのな場所
- ・先生にゆとりがある教育
- ・児童・生徒数が増えるので目ごとくか心配
- ・個性を大事にした教育を
- ・学校の田んぼなど連携を

- ・9年間小中一貫で、不登校やいじめの逃げ場所がなくなるのでは
- ・クラス替えが心配
- ・PTA組織の充実
- ・教科担任制の導入
- ・中学校担任の小学校乗り入れと縦のつながり
- ・不登校といじめに対する有効性の検証

- ・プロジェクト型教育の導入
- ・上級生が下級生の面倒を見るようなカリキュラム
- ・グローバル教育

その他

- ・西小諸からのスクールバスは継続して欲しい
- ・校歌はどうなるのか
- ・小諸東中学校区へどのように展開するのか



小中学校の改築・再編に関する特別委員会報告

7月に「小諸市学校再編計画」が策定され、執行部の今後の進め方の考え方が示されたことから、委員会で討議を行い、左記事項について教育委員会への質疑等を行った。

- ① 統合小学校設計・監理のプロポーザル入札の対応について
- ② 廃校となる3校の利用方法について
- ③ 小中一貫教育に対する取り組みについて

委員会としては、引き続き小中学校の再編計画により、児童生徒にとって、市民にとって未来あるものになるのかをしっかりと調査検討を重ねていく。

※「議会と語る会」で頂いた意見についても今後の検討課題とさせていただきます。

令和5年度 『議会と語る会』

小諸市議会では、議会の活動や市政の課題等を共有するとともに、市民の皆様から議会や市政に
 令和5年度は、コロナ禍の影響により4年ぶりに、10月22日にステラホールにて午前の部と午後の
 意見交換では、「子育て支援」と「学校再編」の2つをテーマとし、グループに分かれてワークシ
 ョップで出された主な意見をご紹介します。

〈子育て支援〉についての主な意見

妊娠したら

- ・ひとり親で身ごもった時の支援など情報が少ない
- ・お母さん同志が集まれる場所が少ない
- ・タクシーチケットの発行など手厚い支援が欲しい
- ・医療費補助の充実を望む
- ・医療体制サービスの充実を望む

保育園・幼稚園

- ・兄弟と違う場所への入園は改善するべき
- ・保育士不足の改善
- ・保育園に入れない理由がわからない
- ・一時保育が利用しにくい
- ・預けたい時に預けられない
- ・認可外の幼稚園、保育園にも補助が必要
- ・延長保育の上限を撤廃
- ・保育士の給料アップ
- ・保育士の配置基準見直し

その他

- ・PTAの在り方の検討
- ・1クラスの児童数が多い
- ・中学校の部活動を地域で支える団体等をわかりやすく
- ・学習支援の場がたくさんほしい
- ・公園・遊び場の充実
- ・モンスターパーアレンツ対応の窓口が知りたい
- ・子ども食堂の補助
- ・ヤングケアラーへの対応が必要
- ・子育て支援策は一時的ではなく継続が必要
- ・地域での子ども居場所づくりが必要
- ・学校の特色づくりが必要
- ・子どもの自殺対策
- ・こもロッジの利用料金を安価に
- ・食物アレルギー等に対しての早期対応

議会の対応

コロナの5類移行後で、「議会と語る会」をどのように実施するのか繰り返し協議し、地域へ出かけるのはまだ早いのではないかと判断し、早いのではないかと判断し、対面式でステラホールでの一日昼夜2回の開催を決めました。

市民の参加人数は市内全地区からの65名で、小規模ながら盛況な会となりました。

詳細なまとめは、上記QRコードからホームページを見て頂き、ご確認をお願いいたします。

あかちゃんが生まれたら

- ・どんな支援があるのか
- ・ママ友の交流場所がない
- ・自由に行ける屋内施設の充実
- ・一時預かり場所が必要
- ・産後うつ対策が必要
- ・支援を継続的に
- ・多胎児(双子・三つ子)の負担軽減
- ・低所得者への支援

小学生以上

- ・給食費の無償化
- ・自校給食は続けて
- ・放課後支援を(発達障がい児)
- ・通学路の整備不足解消
- ・いじめ自殺問題にもっと取り組みを
- ・いじめひきこもりの数字の公開
- ・虐待、いじめの早期発見
- ・不登校解消の対策



「議会と語る会」
まとめ

市議会だより200号題字が決定しました！

ご応募いただいた作品は、市役所4階に展示しますので、お出かけください。
(2月16日～3月19日までの3月定例会の期間)

たくさんのご応募ありがとうございました！

市議会だよりが、今号で200号の節目の発行となりました。より親しまれる広報紙づくりの取組みとして、市民の皆様から『市議会だより』の題字を公募し、12月8日に締め切ったところ、22点の応募がありました。市議会広報委員会による選考の結果、200号の題字は関幹奈さん(和田区)の作品に決定しました。

最優秀賞 関幹奈さん(和田区)

「小諸市の特徴、特産品を文字にしました。

小諸を代表する梅の花、全国的に有名な小諸蕎麦、毎日眺める浅間山、以前は家でも作っていたりんごと桃に冬の楽しみでもあるスキーを組み合わせました。市議会だよりの題字に採用してもらい光栄です。」



↑ 梅の花 ↑ お蕎麦と葉味とはし ↑ 浅間山 ↑ りんご ↑ もも ↑ スキー



題字選考の様子

ご応募いただいた作品の中から、上位5作品を令和7年2月までに発行する市議会だよりの表紙題字として使用します。

応募人数：17人(7歳～71歳まで)

選定：令和5年12月12日開催の議会広報委員会にて

3月定例会の予定(2/16～3/19)

月	火	水	木	金	土	日
2/12	13	14	15 請願等締切(正午)	16 9:30～ 本会議(提案説明等)	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27 9:00～ 本会議(一般質問)	28 9:00～ 本会議(一般質問)	29 9:00～ 本会議(一般質問)	3/1 9:00～ 総務文教委員会・分科会	2	3
4 9:00～ 総務文教委員会・分科会	5 9:00～ 市民福祉委員会・分科会	6 9:00～ 市民福祉委員会・分科会	7 9:00～ 産業建設委員会・分科会	8 9:00～ 産業建設委員会・分科会	9	10
11	12	13 9:00～ 予算決算委員会	14	15	16	17
18	19 9:30～ 本会議(委員長報告等)	20	21	22	23	24

*予定のため変更になる場合があります。詳しくは議会議務局へお問い合わせください。

市議会では、皆さんの要望などを
請願や陳情として受け付けています。

令和6年3月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は令和6年2月15日(木)正午です。

詳細は市議会HPをご覧ください。



意 答 問

|| || ||
意 答 質
見 弁 疑

物価高騰対策等補正予算を可決

12月定例会は、11月24日から11月19日までの26日間の会期で開催されました。理事者提出議案は、条例案4件、予算案件8件、一般案件9件、人事案件2件、議員提出議案1件の計24件で、すべて原案どおり可決・同意しました。議会だよりでは、主な審議経過をお知らせします。

令和5年度一般会計 補正予算

◆補正予算7号（旧小諸本陣

敷地一帯の整備費用5千700万円の補正）

中心拠点形成促進事業

問 購入した建物はどのような活用していくのか。

答 本陣の補完機能として、文化の発信、観光の拠点としての活用を想定している。建物は取り壊さず活用する予定である。

◆補正予算8号（5億6千万円の補正）

ふるさとPR事業

問 ふるさと納税が増収となった理由と人気商品は何か。

答 ワインが好評であったこと。また、桃は少量を希望するニーズに対応した内容量2kgを用意し、来年度の先行予約販売が好調であったため。

子ども・子育て支援事業

問 民間保育所等保育環境改善等事業交付金の内容は何か。

答 今年度から補助事業となったもので、みずび幼稚園、ひなたぼっこ、さくら保育園で行う、使用済みおむつの保管用ごみ箱の設置費用に対する交付金である。

交通安全対策事業

問 自転車用ヘルメットの購入補助申請はどのような手続きか。また希望者が見込んでいる100人分を超えたらどうするのか。

答 申請は領収書と申請書を一緒に提出していただく。補助を見込んでいる100人分を超えても、購入日から90日以内に申請できる制度を検討しており、来年度も対応する予定である。

農産物ブランド化事業

問 高収益作物新産地形成事業補助金は具体的に何を推進するのか。

答 長野県の推奨品種である

シャインマスカット、ナガノパール、クイーンルージュを想定している。小諸市全域を対象に苗木、トリス（支柱）など施設導入の際の農家の自己負担の3分の1を補助するもの。

移住・定住促進事業

問 U I J ターン就業・創業移住支援事業は東京圏・愛知県及び大阪府から移住される方に限定しているのはなぜか。

答 国及び県の制度設計によるもので、その他の県外からの移住であれば市が単独で行っている小諸市移住促進補助金がある。ホームページ上で分かり易いように、今後表現を工夫したい。

◆補正予算9号（4億9千400万円の補正）

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業

問 住民税非課税世帯に対し、一世帯7万円を支給することだが、対象世帯への通知の発送や申請期間はどのようになるか。

答 通知は1月中旬の発送を予定しており、すぐに返信してもらえば1月中旬に給付できる。申請期限は3月末となるが、状況によって期限の延長も判断していく。

子育て世帯支援事業

問 18歳以下の子ども一人あたり1万円の市内限定商品券を、子育て世帯に配布することだが、対象人数と発送時期、使用期限はどのようにになっているか。

答 対象人数は6千100人で、発送は3月中を予定している。使用期限は、令和6年6月末となる。

令和5年度特別会計 補正予算

◆小諸公園事業特別会計

問 今年は遊園地が冬も営業するとのことだが、営業時間等はどうか。

答 営業日は、12月から3月上旬までの土日、祝日、年末年始を除いた日を予定し、

営業時間は午前10時から午後4時を予定している。

◆小諸市水道事業会計

株式会社水みらい小諸の決算について説明を求めたい。

◆小諸市介護保険事業特別会計、小諸市公共下水道事業会計、小諸市農業集落排水事業会計について審査を行い、原案のとおり可決した。

条例など

常任委員会において、審査しました。

総務文教委員会

◆小諸市組織条例等の一部を改正する条例（令和6年4月1日付組織機構改革に伴うもの）

これまで2階フロアで完結していた子育て支援等の対応が、部署が変わってフロアも1階に移ることに課題はないか。

2階に教育相談業務が残るが、子育て支援等の相談窓口をこども家庭支援課に集約するとともに、教育委員会との連携も今まで以上に密に対応したい。

〈討論〉

市民に早めに周知を行い、混乱がないよう分かりやすく広報してほしい。

◆小諸市体育施設条例の一部を改正する条例（教育委員会が管理する体育施設の休場日や休館日を運用実態に合わせて見直すもの）

◆小諸市体育施設の指定管理者の指定について
一般財団法人小諸市体育協会（3年間）

◆小諸市懐古射院の指定管理者の指定について
一般財団法人小諸市体育協会（3年間）

市民福祉委員会

◆小諸市印鑑条例の一部を改正する条例（コンビニエンスストア等の多機能端末機による印鑑登録証明書の交付において、スマートフォンを利用した交付申請を可能とするためのもの）

◆小諸市市税条例の一部を改正する条例（地方自治法の改正による、出産した被保険者等に係る国民健康保険税の一部を免除する措置の創設のため改正するもの）

産業建設委員会

◆小諸市民ガーデンの指定管理者の指定について
特定非営利活動法人こもろの杜（3年間）

◆小諸市北国街道荒町館の指定管理者の指定について
荒町区（1年間）

◆小諸市北国街道与良館の指定管理者の指定について
与良区（3年間）

◆小諸市西小諸活性化施設指定管理者の指定について
西小諸活性化施設運営委員会（3年間）

◆小諸市水道施設等の指定管理者の指定について
株式会社水みらい小諸（5年間）

◆浅麓環境施設組合規約の変更について（小諸市が設置した浅麓汚泥再生処理センターの下水道汚泥処理施設の財産処分が完了したことに伴うもの）

◆不動産の取得について（旧小諸本陣敷地一帯の整備に関係する土地を取得するもの）

◆小諸市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について
渡邊 貴樹氏

◆小諸市監査委員選任の同意について
塩川 和彦氏

議員発議

◆ガザ地区における平和の早期実現を求める決議
本決議は、平和を希求している本市の市議会として、この紛争にかかわるすべての当事者及び国際社会に対し、人道目的の即時停戦、国際人道法の遵守、人道的被害の抑制、人道支援助物資の供給の改善を求めるもの。

◆本会議で採決の結果、全会一致で可決と決した。

人事案件

各委員の任期満了に伴う選任につき同意しました。

12月定例会提出議案及び審議結果





学校再編と小諸市の中長期的な財政シナリオ

楚山伸二

質問

小中一貫教育によって、学校がどう変わるかよりも、児童生徒一人ひとりがどう変わるかをもっと伝える必要があるのではないかと。

教育長

下級生に対する温かな眼差しや、上級生への慕い憧れる様子など、小中一貫の先進校での実践例にあるような教育を進めたい。

質問

統合する小中学校周辺の交通渋滞緩和・安全確保と、子ども達の体力づくりのために、スクールバスの発着場所を児童館の機能を付けた小学校跡地にはどうか。

教育次長

開校の2、3年前から各種委員会を立ち上げて検討していくが、一つの提案として受け止めたい。

質問

市が示した「長期財政見直し」では、令和10年度の統合小中学校開校以降、市の貯金である基金が底をつき、必要な予算が組みなくなるような可能性・シナリオが想



定される。市長には相当な覚悟が必要で、将来に対して重い責任が課されるがどう感じているか。

市長

今も責任や覚悟を持ってやっている。

質問

将来世代の基金に依存せずに、独自に収入源を確保していくような意気込みを聞きたいがどうか。

市長

ふるさと納税や民間の人材・ノウハウの活用など継続している。議会によるチェックを入れていただく中で財政は担っていく。



松くい虫・熊の被害・いじめ不登校の現状は

青木春美

質問

松くい虫の被害状況はどうか。

市長

当市では、平成13年に川辺地域で被害が確認されて以降、被害拡大防止対策として、国・県の補助金を活用し、伐倒燻蒸や薬剤散布を行い、被害拡大防止を図ってきた。当時松くい虫の生息範囲は標高800m付近が上限とされていたが、近年では今まで確認されていなかった標高900m付近や、南大井地区でも確認され、温暖化の影響や交通網の変化により、生息範囲も拡大している。

質問

松くい虫の対策支援はどうか。

市長

現在は、森林環境譲与税を活用して、所有者が被害木の伐採を行う経費に対して補助金交付を行っている。補助制度は伐採経費の2分の1とし、上限金額は市内在住者には5万円、市外在住者は2万5千円。令和4年の実績は申請件数48件12本で、川辺地区が多い状

況で補助金額は136万円である。

質問

市内の熊の被害状況はどうか。

市長

今年度は、16件報告されている。被害内容は、りんご・とうもろこしの食害及び養蜂業被害である。

質問

いじめ不登校の現状はどうか。

教育長

いじめは、令和4年度の集計として、小学校46件、中学校4件確認され合計50件のうち、重大事案は認められていない。不登校は、今まで県平均を上回っていたが、改善してきていると考える。



子どもは宝



保育士の待遇改善は？農業用水路の改修は？

清水喜久男

質問

保育士不足の影響で保護者の期待に沿っていない保育現状のため、保育士の待遇改善が計画されたが、改善内容と課題は何か。

市長

正規職員採用は、退職補充とは別に毎年2名ずつの増員採用、会計年度任用職員の処遇改善は4点あり、①時給額の引き上げ②1日7時間30分勤務の方は時給制から月給制に変更③クラス担任の報酬の増額④地方自治法の改正に伴う勤勉手当の支給である。課題は、各自治体、民間保育園等でも処遇改善が考えられ、全国的な保育士不足解消のめどが立っていないので処遇改善と共に働きやすい職場環境づくりが必要となる。

質問

ほ場整備後50年が経過し、老朽化した用水路の改修はどうか。

市長

市内では県営事業としてほ場整備をした6地域があり、それぞれ相当な年数を経過しており、用排



整備後50年が経過し改修が必要な用水路

水路や農道の老朽化が進んでいる。ほ場整備した地域は農業経営安定化に欠かせない優良農地であるので、本年度より水路改修に特化した予算を計上している。

質問

農業振興地域の整備に関する法律等の改正が今年4月より施行となったが農用地への影響はどうか。

農業委員会会長

農地の取得は農業委員会が下限面積要件を定めていたが、今回の農地法の改正により下限が撤廃され、誰でも購入が可能となったことにより農地取得後も耕作しない農地が増えることが危惧される。



小諸城址懐古園の名勝指定への取組は？

小林一彦

質問

国の名勝指定への取組の進捗状況はどうか。

教育長

今年5月には、県文化財保護審議会会長による現地指導、6月の市文化財保護審議会では、国指定を見据えた県指定の手続を進めることについて、また、10月の市審議会では、国土調査の影響について協議し了承を得た。

質問

今後のスケジュールはどうか。

教育長

市の名勝指定を進める際、地権者、関係者への説明会を開催し、事業の詳細や最終目標が国指定であること、また、指定による影響などをご理解の上で同意をいただいている。

しかし、このときはあくまで市指定に対する同意だったので、改めて説明会を開催し、事業認識を共有し直し、県、国の指定に同意いただいた上で県の文化財保護審

議会に申請していく。

また、県の文化財保護審議会は来年2月に予定されているので、そこでの諮問に間に合うように申請書類の提出を準備している。その後、順調に進めば、9月の同審議会にて答申を受け、その後の県教育委員会の告示により正式に県指定となる。

あわせて、県文化財保護審議会へ諮問された後、答申を受けるまでの間に文化庁調査官の現地指導を計画し、県指定後、速やかに国指定に向けて動き出せるように並行して手続を進める予定で考えている。



桜の小諸城址懐古園

個人質問



『学校給食の無料化はしません』宣言を 高橋 公

質問

『小中学校の給食無料化』をしないことについて、市民にしっかりと伝わっていない。そこで改めてこの場で説明をして頂きたい。

市長

本市では、市単独での学校給食の無料化は考えていない。

昭和28年から現在まで、各学校で直営の自校給食にこだわっている。各学校には栄養士を配置し、地産地消の献立を考え、天候不順なども考慮して地元生産者と連絡を取り合い、暖かく、また冷たくて美味しい適温の給食を子どもたちに提供している。

また、地元生産者の畑で子どもたちが収穫など農業体験を行い、翌日の給食に使用されることで、農産物がどのような工程を経て給食になるかなどを学んでいる。

結果として給食の残食がゼロになるなどの効果も出ており、それが家庭へも伝わり、食育が地域全体で進められている。

本市では食材費のみ負担してい

ただいおり県下では低額である。

給食の無料化には、国の支援と十分な財源確保が必要であり、小諸市の場合は年間で約1億7千万円が必要となる。

今まで通りに食材費のみを家庭で負担して頂き、本市が誇る安心安全で心のこもった美味しい給食を安定して提供していきたい。

質問

給食の無料化に向けた国の動きは怎么样了か。

市長

具体的な動きはないが、無料化に向けた課題を整理していると聞いている。



小諸市の小学校給食



市民益に繋がる政策や条例の必要性 中村美奈子

質問

救急医療体制の確保と維持が市民益に繋がっているか。

市長

行政も市民も一体となって地域医療を守っていくことが、一人ひとりの命を守り、市民益の向上になると考える。

質問

今後、救急医療体制のひっ迫を防ぐために、電話相談窓口や救急受診アプリの周知策とともに、「地域医療を守る条例」の制定が必要と思うがどうか。

市長

市民に広く啓発していくことと、地域医療を守る意識をしてもらう意味でも条例の検討は必要である。

質問

市民の健康促進と地域医療を学ぶことをセットにした、世代別の指導が必要と思うがどうか。

保健福祉部長

こもろ医療センターの地域医療連携室と連携を取りながら、取組ができることから実施したい。

質問

除融雪体制の確保が今後も維持できるか。

市長

令和5年度は33社の委託業者で対応し、費用面では大きいですが安全な通行には必要であり、何より今後も事業者や地域の皆様の協力があつての事業と考えている。

質問

除融雪委託業者以外の18事業者には有償ボランティアとして、必要箇所の除雪を依頼するのはどうか。

建設水道部長

通常の除融雪作業に登録いたいただきたいが、今後研究をしたい。



長野県救急安心センター



厚生労働省

救急要請を迷ったときの電話相談窓口



防災対策と学校再編計画の実施の状況は？

土屋さつき

質問

防災行政無線の言葉や内容が聞き取れないとの市民の声が多いがどのように対応しているのか。

市長

屋外拡声子局のスピーカーの種類や方向を調整して全101カ所の子局により市域をカバーしている。気象状況等で聞き取りにくい場合はメールマガジン、公式ラインで放送内容を確認していただきたい。また固定電話による聞き直しサービスを勧めている。

質問

防災行政無線戸別受信機を配布できないか。

市長

令和6、7年度に計画している防災行政無線の部分修繕で戸別受信機の屋外アンテナの不要範囲を広げられる見込みや戸別受信機を安価で購入できる可能性もあり、無償貸与の方向で検討していく。

質問

教職員に対して学校再編及び小中一貫教育に関する理解は得られ

たのか。

教育長

小諸市学校職員会共同研究会が10月に実施され、学校再編及び小中一貫教育に特化した説明を行った。また各校長は自校において再編に関する進捗状況の説明、先進校視察の結果報告を実施している。

質問

学校再編に関して今後市民の意見をどのように反映させるのか。

教育長

プロポーザルにより業者を選定する際、児童生徒、教職員、保護者、地域の方の意見を設計に反映できることを選定の条件にしたい。



公式ライン登録、聞き直しサービスの併用を



安心・安全でより良い通学環境の確保を

山浦利夫

質問

統合に伴い歩道設置等、通学路の整備はどのように考えているか。

市長

毎年学校から出された要望を基に関係者による通学路合同点検を実施し、必要な整備については国道・県道は、道路管理者に改善要望を実施してきた。市道は応急対策を含め対応してきている。

質問

県道諏訪白樺湖小諸線は大久保から芦原中に向かって通学路になっているが、幅員が狭く、交通量も多く危険であり、歩道を設置しただけだと対応はどうか。

建設水道部長

統合小学校の児童の通学路にもなることが考えられるが、歩道がなく、幅員も狭い。また、交通量の多い道路と認識している。

歩道設置には用地買収など、時間を要することが考えられるため、グリーンベルトやポールの設置等、応急対策を含めて要望を行っていきたく考えている。

質問

統合に伴いスクールバスの導入はどのように考えているか。

市長

導入に向け検討を開始しており、他市の状況を確認するなど、実施に向けた準備を始めている。

質問

スクールバスは、便数等内容も含めて示していくことが理解につながると思うがどうか。

教育次長

安心して通学できる環境は当然整えなければならない。開校に向けて課題等のクリアも必要となるので、確実に進めていきたい。



歩道の設置等、安全な通学環境の確保を

個人質問



地域共生社会へ「難聴者支援・認知症対策」

柏木今朝男

質問

難聴を早期発見するとともに、介護予防、認知症予防の一つの支援として、全国の自治体で実施しているスマートフォン等のアプリを活用した聴力チェックはどうか。

保健福祉部長

現在も訪問や相談において聞こえづらさのある方に対しては受診を勧めるなどの対応をしている。

質問

補聴器購入への補助制度創設について、単なる助成制度ではなく、相談員や専門家による助言の下で、安心して補聴器が使用できる体制と共に、財源として「保険者機能強化推進交付金」等を活用して、補聴器購入支援をしてはどうか。

市長

補聴器利用・助成の在り方を含め、国・県や他市の動向を見ながら検討する必要がある。補助制度を導入する場合は、財源をどのよう確保するか、一般財源、その他補助事業の取捨選択や見直しも検討する必要があると考える。



補聴器購入に支援を！

質問

市庁舎窓口の難聴者配慮として、軟骨伝導イヤホンの設置はどうか。

市長

現在、助聴器を利用しているが、今後購入機会があれば検討したい。

質問

「認知症基本法」を受けて、市の「認知症施策推進計画」策定の考え方や、施策への反映はどうか。

保健福祉部長

令和6年度からの「第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」や、次の改定時に「認知症基本法」に沿った取組を進める旨の内容を含めていく予定である。



ゼロカーボンシティこもろについて

田中寿光

質問

民間施設・公共施設への太陽光発電・蓄電池導入についての計画策定状況はどうか。

市長

選定された脱炭素先行地域の計画において、民間施設は194施設、公共施設は13施設で導入を予定している。

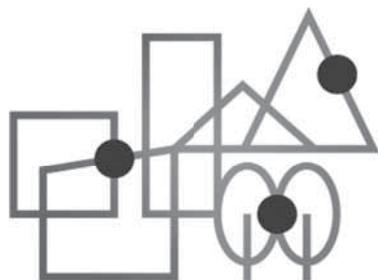
脱炭素先行地域の取組以前より、(株)シーエナジーが市内の公共施設などを対象に、技術面や採算面から再エネ事業の事業化の実現可能性を調査している。そのような既存のデータも活用し、計画策定を進めている。

質問

戸建て住宅への太陽光発電・蓄電池・断熱改修などへの周知や補助の予定はどうか。

市長

周知については、令和6年度当初に市民を対象としたシンポジウムを開催し、その後(株)シーエナジーが順次戸別に説明を開始して周知する予定となっている。



脱炭素先行地域
長野県小諸市

質問

取組スケジュールの中から、公用車等のEV化・充電設備の導入事業計画はどうか。

市長

来年度にかけて導入計画を策定していく。ただし地域住民や観光客など広く一般利用が可能な充電スタンドについては、新たなサービスの提供やショールーム機能としての機運の醸成なども期待されるところであり、できれば今年度中にも一部で整備・供用開始を実現したい。



带状疱疹ワクチン接種の助成を求めます！

土屋利江

質問

経済対策において、低所得世帯支援枠の追加が盛り込まれたが、市の取組はどうか。

市長

物価高に最も苦しんでいる低所得者に夏以降一世帯3万円の支援を実施、さらに7万円を追加支援。年内の予算化に向け検討している。

質問

母子健康手帳のICTの導入はどうか。

市長

社会全体でDXが進む中、子育て世代が抱える育児不安の解消や支援にアクセスしやすく、自治体の情報も届きやすいツールとしての効果もあり検討を始めている。

質問

低出生体重児用手帳のリトルベビーハンドブックの取組はどうか。

市長

県においては極低出生体重児フオローアップ手帳があり、リトルベビーハンドブックの作成を進めていると聞いている。



静岡県リトルベビーハンドブック

質問

糖尿病性腎症重症化の予防対策はどうか。

市長

本市は県と比較しても糖尿病の入院、外来の医療費割合が高い。健康づくり課と高齢福祉課が連携し、保健師、管理栄養士などが予防プログラムに基づき保健指導を行い、重症化予防に取組んでいる。

質問

带状疱疹の発症予防のためのワクチン接種の助成制度はどうか。

市長

県の考え方や他市町村の動向を踏まえ検討していく。



9年生の義務教育学校は可能なのか？

掛川 剛

質問

7月策定の小諸市学校再編計画では小中一貫教育の推進について、9年制の義務教育学校の導入に向け検討しているが、視野に入れているのか。

教育長

方向性を決めるのに悩んでいる部分だが、義務教育学校はプラスになるところが多いと実感している。小諸東中学校は一つの学校にすることは難しいが、先進校は学園制の中で交流できるような工夫をしている学校もあるので、まだ先進地に学ぶ余地はある。

質問

小諸東中学校区で、美南ガ丘小と中学校の距離を考えたときに現実的に何回行ったり来たり出来るのか。仮に芦原中学校が義務教育学校になったときに小諸東中学校区は2校に分かれるが可能なのか。

教育長

学園制でやっている学校がある。学園長がいて各小学校に校長がいるという形はできる。

質問

片方は義務教育校、一方は変則的で不公平感が出る。市民の理解を得る議論が必要だがどうか。

教育長

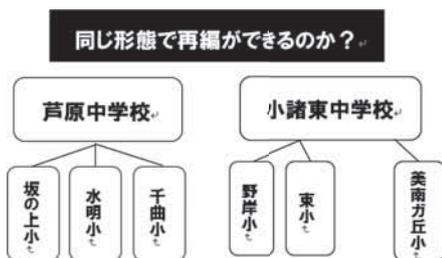
そのとおりだが、その前にどのような教育をするのが先決と考える。先進校では離れた小学校と連携を取りながら学園制としての義務教育学校を成立させている。

質問

地域の協力など、もう少し議論したほうが良いのではないか。

市長

8年かけて議論してきている。理解されるよう協力願いたい。



義務教育学校はもっと市民の議論が必要では

個人質問



どうする「放課後デイ閉鎖」と「婚活事情」

小林哲子

質問 放課後デイ（アスパラキッズ）閉鎖まで、市としてはどのような支援をしていくのか。

社協では、令和7年3月31日を期限とし廃止し、利用者と相談しながら、他の事業所への移行を順次進めていると聞いている。市としては、直接的な介入支援は行わないが児童発達支援センターや社協とともに状況を共有し、移行支援に慎重かつスピード感を持って進めていく。今後ニーズの変化に対応する障害福祉計画等の策定と実践、地域全体の福祉課題として捉えている。

市長 観光局のボルケーノラブ活という登山婚活イベントを実施、過去12回の開催で83組のカップルが誕生。市内の婚活支援としては、県が構築した、ながの婚活マッチングシステムの活用や、結婚新生活支援事業補助金の支給などを検討している。

質問 名前を呼ばれたら、お返事「はい」を推し進めてはどうか。

教育長

挨拶は対人コミュニケーションの基本であると認識している。社会性を育むために必要なもの、時と場に応じて適切な挨拶等ができるように発展させていければと考



次の利用施設が、早期に見つかることを祈る

えている。学校、教育委員会では、挨拶を含めた所作について、機会あるごとに機を逸せず指導していきたい。

質問

小諸市内での「婚活」に力を入れてはどうか。

市長

観光局のボルケーノラブ活という登山婚活イベントを実施、過去12回の開催で83組のカップルが誕生。市内の婚活支援としては、県が構築した、ながの婚活マッチングシステムの活用や、結婚新生活支援事業補助金の支給などを検討している。



犯罪被害者等支援条例・物価高騰対策を質す

竹内健一

質問 犯罪被害者等支援条例制定への課題と現状はどうか。

庁内専門職の協体制整備と研修を重ね、相談窓口の機能充実を図っていく。全国1千72の自治体のうち835が制定している。

市長

経済的支援としては、どのような支援を考えているか。

質問

制定済みの自治体は見舞金や支援金の給付制度を導入していることから、そうした支援を検討する。

市長

学校に対して教育委員会はどのように条例を啓発していくのか。

質問

犯罪被害者が児童生徒であるときは被害者によって発達に影響が出る恐れがあるため、命の尊さを学ぶ教室の開催や、人権教育の推進に努めていく。

市長

小諸市社会福祉施設等価格高騰

質問

対策交付金の状況はどうか。

市長

県の支援金に乗せして67の高齢者施設、39の障がい者施設、65の医療機関等へ支給している。

質問

ひとり親家庭の支援はどうか。

市長

対象	
住民税非課税世帯	所得税非課税で住民税を支払う世帯
給付済みの3万円に加え 7万円 を支給する方針	10万円 を支給する方針
子ども1人あたり5万円を追加給付予定	

国から新たな給付金の予算化

国から住民税非課税世帯へ一帯7万円の予算化が求められ、今定例会で追加補正する。

市長

現在370世帯おり、今までに現金、商品券等を給付してきている。

質問

新たな支援対策はあるのか。

市長

ひとり親家庭の支援はどうか。

質問

ひとり親家庭の支援はどうか。

市長

ひとり親家庭の支援はどうか。



アートを活かした学び／不妊治療について 清水みき枝

質問 子どもたちの表現力やコミュニケーションシロンカ、自己肯定感を高めることができるよう、「アートの手法」を活用したプログラムを教育現場に取り入れるのはどうか。

東小学校での実践状況を聞くに、子どもたちの生き生きとした姿が想像され大変興味深い。異年齢、同年齢の交流を促す一つの教材として、教員間で授業公開等により情報が共有されるように促したい。

教育長

不妊治療を受けたことがある夫婦は4・4組に1人。生殖補助医療による出生児は約14人に1人。しかし認知度は低く、治療費は高額。小諸市としての支援体制はどうか。

質問

不妊治療の保険適用・適用外に関わらず自己負担費用の助成を行っている。長野県妊活支援サイト「妊活ながの」で、様々な情報を得られるよう支援を行っている。

市長

市ができる対策も検討していく。プレコンセプションケアについて、県の助成があり、広報紙で掲載もしているが相談状況はどうか。

質問

相談はない。今後、周知啓発を図り進め、取組を強化したい。

市長

将来妊娠のための体づくりは、性教育と同じくらい大切で、若い世代に情報を届けたいがどうか。

質問

当然SNS等を活用した周知は可能な限り対応し、口コミのように若者に刺さるようなよい対策はないか企画課で取り組む。

企画課長

「妊活ながの」のQRコードと、プレコンセプションケアのイメージが掲載されたチラシが添付されています。



プレコン、はじめませんか？(詳しくは↑)



コロナ禍による子どもたちへの影響について 小林重太郎

質問 体力、体格について、その影響をどのように認識しているか。

昨年12月にスポーツ庁が公表した令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要によると、当該調査の体力合計点の状況については、令和元年度から連続して小中学校の男女ともに低下している。低下の主な要因として、新型コロナウイルス感染症の影響によるマスク着用中の激しい運動の自粛等も考えられると分析されており、小諸市も同様の状況があるものと認識している。

教育長

「長野県子どもと子育て家庭生活実態調査」によると、新型コロナの影響として、学校の授業がわからないと感じること、不安や気分が沈むことについて「増えた」と回答した学年が多くなっている。困窮家庭では、一般家庭に比べて困窮家庭の方が多く、コロナ禍が困窮家庭では学力に影響しているものと考えられる。この調査結果は、小諸市においても同様の状況にあるものと認識している。

質問

学力について、その影響をどのように認識しているか。

教育長

現時点では児童生徒の滑舌、コミュニケーション力に明らかな変化があるとは感じられないが、長期間マスク生活が続いたことを思うと、まったく影響がないとは言えない。状況を注視していく。



子ども食堂にて



マイナ保険証
市長は推進の立場が鮮明に

早川 聖

質問

政府の進める期限を切ったマイナ保険証への移行は断固反対である。なぜなら国民皆保険制度を根幹から崩しかねない事象が横行し、マイナ保険証を使った受診で、トラブルや混乱が相次いでいる。

保険医団体連合会の調査では、医療機関で5千493件のトラブルが発生し、一旦10割を徴収した例が1千291件あり、診察を受けずに帰宅した方もいた。保険証廃止を強行すれば、トラブルは108万件以上になるという推計もある。他人の利用情報が紐づけられるなど、命に係わる危険があり、絶対にあってはならない。市長、どう思うか。

質問

トラブル続きの中、次々と提案をされる保険証もどきと言われる①暗証番号なし顔認証マイナカード②資格確認証③資格情報のお知らせ④被保険者資格申立書の書類。新たなマイナ保険証発行など複雑な仕組みにより、自治体職員や医療機関、薬局等々は振り回され迷惑な話だと思う。当面は、従来の紙の健康保険証を残せばいいと考える。市長、どう思うか。

市長

国の判断が明確でない段階で、廃止しない、したほうがいい、とは申し上げられない。



「日本共産党写真ニュース」より



高地トレーニングと市民の健康づくり

田邊 久夫

質問

こもろ医療センター・東海大学医学研究所との関わりは、市民益につながっているか。

市長

高地トレーニング合宿誘致の推進により、アスリートの来訪と市民交流からつながる交流人口の増加、地域のブランド力向上に努め地域の活性化を図ってきた。

こもろ医療センターには、市民向けに、健康増進プログラムへの理学療法士の派遣、こもろ健康サポーター教室の開催など市民の健康増進に係る様々な取組を進めている。

質問

市民との関わりはどうか。

市長

エンジョイランニング教室を三井住友海上女子陸上競技部と共催で開催し、小中学生や親子参加で多くの皆様と交流ができた。トップアスリートと触れ合い、一流の技術を体感し、スポーツへの興味や関心、アスリートを目指すきっかけづくりになったと思う。また、市の栄養士により地元の野菜を使い子どもたちの必要な栄養価が含まれたカレーやサラダなどの高トレマンメニューを考案し園児へ提供した。

東海大学スポーツ医学研究所とは、高地トレーニング効果の科学的検証や、その応用で坂のまちの特色を活用したウォーキングやポールウォーキングのコースの設置場所を検討し市民が運動しやすい環境を整備することで、生活習慣病の予防、運動習慣が定着し、スポーツによる地域の活性化及び市民の健康づくりにつながるよう



市民の健康づくり



ぼいす

第27回

キラキラ★小諸人
坂の上小学校3年1組と2組の
皆さん

今回は、社会科の「わたしのまち・みんなのまち」の学習で、市役所庁舎内の議場に見学に来られた坂の上小学校3年1組と2組の皆さんにお話を伺いました。

Q1 ようこそ、本会議場へ！普段入れない議場に入った印象はどうでしたか。

テレビで見た国会や裁判所のような雰囲気でした。でも何をやる場所なのかという説明を聞いて、そんな雰囲気にも納得しました。

Q2 議員席の座り心地はどうでしたか。

大きくて座り心地がよかったです。なんだか偉くなったような気がしてうれしかったです。また座りたいと思いました。

Q3 議場見学の後、どんな質問のやり取りがありましたか。

私たちは小諸市の名所

である懐古園について半年間調べてきました。そして、紅葉まつりの時に「懐古園こどもガイド」としてたくさんのお客様さんにガイドをして喜んでもらうことができました。そこで、他の名所についても調べてみたいと思いい小諸市の観光名所について質問しました。

それに対して、「新しいお店がたくさんできていくこと」「交通の要所であったこと」「お寺がたくさんあること」「北国街道を中心に古い町並みが残っていること」などを教えてもらいました。

教えてもらったことを参考にして、これからたくさん調べて、もっと小諸について詳しくなりたいと思います。

Q4 議場を見学した感想はいかがでしたか。

小諸市のみんなのために大事な話をしているところだと知り、見学させてもらえてうれしかったです。わたしたちもみんなのために活動したいと思いました。

小諸市のみんなのために大事な話をしてい



10月20日に千曲小学校3年生、12月12日に水明小学校3年生の皆さんも議場見学に来ていただきました。

傍聴席



御影区 金井 和生 さん

12月定例会を傍聴しました。

市議会を見るのは初めてです。傍聴席と議員席がとても近く遮るものがないので議員の息づかいを感じるができます。

半面、セキュリティ面では議場に入出する際の手荷物検査もなく、危機管理の強化が必要と思いました。

さて議会の内容ですが、小中一貫教育、防災無線LINE化など類似した質問が多く、質問応答に際しても単に資料を読み上げる場面が多く、冗長度が高く散漫な感じがありました。

また、今回の記事を書くにあたり、小諸市のホームページ内の会議録検索システムを利用しました。また、一般質問だけでなく、各委員会についても同様に配信して頂ければと思います。

編集後記

昭和55年4月に議会だより1号を発行、平成14年1月には100号記念。今号は記念すべき200号です。

記念号に相応しい表紙・内容にしたいと広報委員会で何度も会議を重ね、表紙の題字の募集をしました。数多くの応募があり、投票で上位5点を決定。また、4年振りの市内小学校の議場見学や「議会と語る会」の報告を掲載しました。

早くも第19次議会も1年が過ぎます。開かれた議会を目指し、今年度は常任委員会や女性議員が積極的に

各種団体と意見交換会を開催しましたが、まだまだ「議会は何をやっているかわからない」という声が聞かれ、議員活動の情報伝達の方法を模索検討すべきと感じています。

令和6年度の「議会と語る会」はコロナ前のように地区別に開催するか、市民の幅広いご意見を聞いて今後、検討します。

議会だよりの読者の皆様、今号の感想・意見をお待ちしています。

(利)